

一般財団法人千葉陸上競技協会

第19回理事会議事録

平成29年8月12日
一般財団法人千葉陸上競技協会

代表理事：

議事録署名人：

議事録署名人：

第19回理事会

日 時 平成29年8月12日(土)午後3時30分
会 場 千葉県総合スポーツセンター陸上競技場会議室
出席状況 出席 26名 欠席 3名 計 26/29

議事内容

- (1) 第72回国民体育大会選手選考について
- (2) 第72回国民体育大会監督選任について
- (3) 各種駅伝競走大会選手選考方法について
- (4) 各種駅伝競走大会監督選任方法について

報告内容

- (1) 各専門委員会報告
- (2) その他

1 開会 午後3時30分

木内専務理事より

・理事会に先立ち、7月15日に千葉陸上競技協会 野村 和 名誉会長がご逝去された。ご冥福を祈り、黙祷を行う。

2 定数確認 (木内専務理事)

定数29 出席26名 欠席3名 計 26/29

定款第37条により、本理事会は成立。

3 会長挨拶 (宇野会長)

(要旨) 日頃より千葉陸上競技協会にご尽力を頂き感謝する。報告になるが「未来への道 1000km縦断リレー2017」この縦断リレーが8月4日に茨城県から千葉県旭市へとリレーされた。震災を風化させない為にもこのようなイベントを継続し、千葉陸上競技協会として行事を盛り上げていきたいと考える。本日は多くの議案がある。慎重な審議をお願いする。

4 議長選出

宇野代表理事より説明があった。

- ・議長選出については定款第36条により、「代表理事又は業務執行理事があたる。」とある。代表理事である私が議長を務める。

5 議事録署名人

宇野代表理事から説明があった。

- ・定款第41条により、「代表理事及び監事が記名押印する。」とある。よろしく願います。

6 議事

議案（1）第72回国民体育大会選手選考について

議案（2）第72回国民体育大会監督選任について

議長から、議案（1）議案（2）について、伊東強化委員長に説明するよう指示があった。

（伊東強化委員長）

- ・第72回国民体育大会選手選考について、選考基準に則り、愛媛国体で上位入賞できる選手を選考した。詳細は別紙参照を願いたい。男子17名（成年4名、少年A6名、少年B2名、少年共通4名、成年少年共通1名）、女子12名（成年6名、少年A3名、少年B2名、少年共通1名）の審議を願いたい。
- ・第72回国民体育大会監督選任について、男子監督は伊東謙二、女子監督は秋葉麻帆、2名の審議を願いたい。

議長から、議案（1）議案（2）について質問及び意見が求められたが、特になかった。議案（1）（2）について承認された。

議案（3）各種駅伝競走大会選手選考方法について

議案（4）各種駅伝競走大会監督選任方法について

議長から、議案（3）議案（4）について、滝田駅伝部長に説明するよう指示があった。

（滝田駅伝部長）

- ・各種駅伝競走大会選手選考方法について、東日本女子駅伝選手選考会は9月2日（土）、全国都道府県男子駅伝並びに女子駅伝選手選考会は11月25日（土）、それぞれの選考会の選考基準をもとに選手選考するので一任していただきたい。選手の選考結果については、決定次第千葉陸上競技協会に報告する。
- ・各種駅伝競走大会監督選任方法について、強化委員会駅伝部に一任していただきたい。監督・コーチの選考結果については、決定次第千葉陸上競技協会に報告する。

議長から、議案（３）議案（４）について質問及び意見が求められたが、特になかった。
議案（３）（４）について承認された。

７ 報告事項

報告事項（１）専門委員会より

議長から各専門委員長等に指示があり、委員会ごとに各委員長が説明をした。

総務委員会（市東委員長）

- ・「千葉陸協だより 第１０号」を発行した。原稿について皆さんのご協力に感謝する。
- ・平成２９・３０年千葉陸上競技協会要覧を作成している。
- ・理事会の議事録をホームページに載せた。

競技運営委員会（伊藤委員長）

- ・第７０回千葉県陸上競技選手権大会、第４９回千葉県クラブ対抗陸上競技大会、第３３回小学生陸上競技交流大会概況をまとめた。別紙参照を願いたい。次年度に向けて改善をしていく。
- ・陸上競技場の使用に多少制約があり、競技運営に支障が生じることがある。早急に対応する必要がある。

強化委員会（伊東委員長）

- ・これから天皇杯獲得に向けて、強化活動を進めていく。
- ・第１陸上競技場と第２陸上競技場の使用上の制約があり、道路競技の都道府県対抗駅伝競走等の選手選考会に不便が生じている。千葉陸上競技協会として関係方面に働きかけていただきたい。

施設用器具委員会（松本委員長）

- ・千葉陸上競技協会新体制になり、施設用器具委員会でも準備が滞る面があった。今後、センターとの連携を図り、競技運営に支障がないよう努める。
- ・平成３０年アクアラインマラソンに向けて、コース点検を始める。

高体連（香取委員長）

- ・平成２９年度全国高等学校総合体育大会陸上競技大会、本県の結果は男子７種目入賞（優勝１種目含む）、女子７種目入賞（優勝１種目含む）である。詳細は別紙参照を願いたい。

中体連（舟橋委員長）

- ・第４５回関東中学校陸上競技大会決勝一覧を参照願いたい。今大会は男女共に好成績であった。８月１９日から行われる全国大会には総勢１０１名の参加である。全国で２番目に多い参加である。

マスターズ（鈴木理事）

- ・７月３０日千葉マスターズ選手権が行われる。県内外から５２９名の参加であった。大会運営にあたり、千葉陸上競技協会の協力に感謝をする。

(3) その他

高木理事より

- ・「未来への道 1000km縦断リレー2017」は7月24日青森県を出発し、8月4日に茨城県から本県旭市に入る。その後千葉県庁、浦安を經由し、ゴール東京へと1000km縦断リレーを終えた。本県の協力を感謝をする。

木内専務理事より

- ・各大会概況については、共通理解を図る為に準備した。今後も定期的に報告をする。
- ・アクアラインマラソンについて、オフィシャルロゴ等が正式に決定をした。また、審判委嘱に向けて出欠調査を行っている。
- ・若干のコース変更が検討されている。

中村理事より

- ・平成30年アクアラインマラソン審判委嘱について、現在往復はがきによる出欠調査を行っている。返信率が悪い状況であり、各地区理事より返信を呼び掛けていただきたい。
- ・登録審判の住所確認を各地区で徹底していただきたい。
- ・審判資格をお持ちの方に対し、千葉陸協に審判登録することを各地区で伝えていただきたい。

舟橋理事より

- ・次年度から県中学校総合体育大会陸上競技大会と県中学通信陸上競技大会を、国体少年Bの選考大会として加えていただきたい。

木内専務理事より (回答)

- ・担当の部署に連絡をしてある。次年度より選考会として加える。

中村理事より

- ・オリンピック事業の強化選手が国体選手になることについて、何らかの制約があるか。

伊東強化委員長より (回答)

- ・オリンピック種目の成年選手に向けての強化事業である。その上で、国体種目に該当する選手がいれば、国体選手として選考はする。しかし、今回は該当種目が無く選考外であった。

塩谷理事より

- ・陸上競技場の使用に制約があるという報告を受けたが、各委員会で対応するのではなく、千葉陸上競技協会として会長や専務理事が県と対応することが望ましいと考える。

中村理事より

- ・陸上競技場の使用に関する制約に伴う諸問題を総務でまとめ、会長や専務理事を通し競技運営上に支障が生じないようにまとめていただきたい。

木内専務理事より (回答)

- ・千葉陸上競技協会として対処していく。

8 その他

塩谷理事より

- ・前回理事会で千葉県体育協会70周年について話があった。千葉陸上競技協会として委員会を立ち上げ、記念誌の作成や記念式典を開催するなどの考えはないのか。

長谷川副会長より

- ・千葉陸上競技協会の歴史をひも解くと、前身である千葉陸上競技連盟の設立から数えると本年は82年目になる。千葉県体育協会70周年ではあるが、千葉陸上競技連盟から始まり今日に至るまでの歴史に配慮し、今回は記念に関わる行事は行わない。但し、連盟設立から100周年の節目は記念行事を行う必要はある。

宇野会長より

- ・様々なご意見がある。本理事会で決定するのではなく、財務委員会等で慎重に検討し、方向性を示していただきたい。

以上ですべての議事・報告については終了である。

9 閉会

宇野会長から閉会が宣言された。

午後4時30分 閉会